

本年度もたくさんの笑顔!いただきました!!

NPO法人
伊達西地区

自治協だより

第46号

発行・編集

NPO法人
伊達西地区自治協議会
事務所:伊達市北後22-1

発行責任者

理事長 鈴木克良

子ども農園 (一月で活動終了)

6月より毎月第2・第4金曜日を基本に開催してきた「子ども農園」(全11回、25名参加)は、1月で活動を終わりました。10月以降は、サツマイモ・落花生・ダイコンの収穫をはじめ、ニンニクの植え付け、タマネギの苗植え等、次年度に参加する皆さんの収穫に向けた準備をしました。

最終回(1/12)は、豊作や作物への感謝を込めた「だんごさし」を行い、その後、今年度の活動を振り返りました。今年度も、子どもたちの笑顔がいっぱいのおいしい野菜づくりを楽しむことができました。参加してくれた子どもたち、そして、ご協力いただいたボランティアの先生方、お疲れ様でした。そしてありがとうございます。

- | | |
|----|---|
| 1面 | 子ども農園 |
| 2面 | ベーシックヨガ教室(ミドル世代)・人間茂吉の文学散歩・変貌する伊達地区・今のうちにもう一度 |
| 3面 | だてな生き方・私の履歴書・冬のおもてなし料理・門松づくり |
| 4面 | 教室・新年を祝う生け花教室
味噌づくり教室・子ども食堂「おいしい食堂」・2階「わくわく広場」の開放・能登半島地震災害義援金・編集後記 |

下記のQRコードから、過去の「自治協だより」をご覧くださいませ
(市民活動支援センターHP)



R6.1 / 12 だんごさし



12/ 8 大きくて重いダイコン たくさんとれました ↓



10/13 ニンニクの植え付けとダイコンおろし抜き ←



10/26 サツマイモの収穫

ベーシックヨガ教室（ミドル世代）

Yogatoco 主宰 ヨガインストラクターの深谷恵さんを講師に迎え、10月19・26日、11月2・16日（各木曜日）の全4回、夜間（19～20時）に開催し、20～50代の19名が参加しました。

呼吸法や、基本的なアーサナ（ポーズ）、申込み時記入のお悩み箇所の調整方法等もご指導いただきました。

参加した皆さんからは、「運動不足が解消できた」、「分かり易い」、「身体が楽になった」などの感想をはじめ、「次年度も開催（多数）」、「夜間の開催」などの要望が寄せられ、高評価をいただいた講座となりました。



調整法を教示する深谷講師（左上）と、ポーズの指導風景

人間茂吉の文学散歩

10月10日、11月7日、12月5日（各火曜日）に、斎藤茂吉の文学散歩（全六回）を開催し、福島大学の高野保夫名誉教授に解説いただきました。

第4回「帰国、病院再建の多忙な日々」、第5回「ふるさと金瓶に疎開そして大石田へ」、第6回「世田谷に帰郷、茂吉の晩年」をテーマに、大正期より昭和28年逝去までの茂吉の生きざまを学びました。

短歌等を通して、茂吉の意外な性格や人間性を知ることが出来た等、参加者の様々な感想が寄せられ、有意義な講座となりました。

次年度も、高野保夫先生に「新たな講座」をお願いしております。



傾聴する受講者の皆さんと、解説される高野先生（右上）

変貌する伊達地区

今のうちにもう一度

11月15・22・29日（各水曜日）の3日間に行ったり、（元）福島地理学会員の八島俊雄さんを講師に、伊達地区の大地から読み取れる先人たちの足跡を辿りつつ、「今変わりゆく旧伊達町の姿」を観察する講座を開催しました。

1日目は「西地区の大地と古代道、そして交通路」、2日目は「二つの村長岡村と岡村の一体性」をテーマに、地図や文献に基づく歴史背景や経緯等について、理解を深めました。

最終日の「フィールドワーク」では、諸事情により視察出来ない箇所はありましたが、八島講師の車中でのユー

モアに富んだ人間味あふれる説明・解説により、参加者（26名）にとって、笑いの絶えない楽しい行程となりました。

また、「先人の知恵に感心した」、「自分の住む地域の状況を深く理解できた」等の声が数多く寄せられました。



フィールドワークの風景と、八島講師（車中説明）

↓ 参加者の受講風景（座学）と、地図を解説する八島講師



だてな生き方〜私の履歴書

11月4日(土)、(有)菅野工務店代表取締役の菅野栄次さんを講師に、本業(大工)のかたわら、ボランティア活動をされている秘訣や生き方についてお聞きしました。

高校時代のJRC活動を契機に、日赤奉仕団、伊達町国際交流協会、箱崎愛宕神社獅子講中など、多岐にわたる地域活動を継続され、様々な出会いが自身の成長につながったと結ばれました。

参加者(約30名)からは、「奉仕の心に感動」、「大いに感銘」、「自然体で分かり易い」などの感想が寄せられ、好評を博した講演となりました。



菅野講師(左下)と、参加者の傾聴風景

冬のおもてなし料理

11月30日(木)、ベーカリー麦々工房の金成敦子さんを講師に迎え、冬の特別な日にぴったりな、テーブル華やぐおもてなし料理「アップルポーク・バジルソースコロッケ・キャロルケーキ」の作り方を教わりました。

すりおろし林檎に漬け込んだお肉は、「リンゴ酸効果」で柔らかくてジューシーに。デザートのスポンジ生地作りも、レシピでは分からない「ブロコツ」を教わり、ふわっふわの焼き上がり皆さん大満足の様子でした。



ローズマリーの香りでぐっと本格的に!



泡立て方・混ぜ方のコツを伝授



ふわっふわ〜大成功!



門松づくり教室

小学生の子どもたちを対象に、12月23日(土)に、お正月にかざる縁起物の「門松づくり」を行いました。

講師は、福島県森の案内人の蓮沼昇さん、安斎正博さんのお二人です。

また、二名の指導者(佐藤静雄さん、吉田正幸さん)にも加わっていただきました。

「門松」は、新年に歳神様が訪れるための目印と言われますが、参加した子どもたち(約20名)は、切り口が笑っているように見える竹の周りに、松竹梅や南天を飾りつけ、素敵な門松が出来上がりました。

講師より、行事の由来や過ごし方をはじめ、環境の大切さについても分かり易くお話いただき、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



「笑い門松」(左上)と、その制作風景

新年を祝う 生け花教室

12月24日(日)、龍生派家元教授の齊藤智千さんを講師に、新年を迎える生け花教室を開催しました。

千両やサンゴ水木、ピンポン菊等、季節感のある生花や枝を準備いただき、参加者は、思い思いに自分の感性で、個性溢れる素敵な生け花が完成しました。

今回は、殆どが初心者の方で、男性の参加もありました。

「集中してお花と向き合う時間が楽しかった」、「丁寧な指導に感謝」などの感想が寄せられ、素敵に新年への準備が整ったようです。

↑ 齊藤講師と、参加者の受講風景 ↑
完成した作品を前に、記念撮影です ↓

味噌ひっくり教室

1月26日(金)、キッチン醤油株式会社の大戸さん、小野さんを講師に迎え、味噌づくり教室を開催しました。

仕込み作業は、塩と麴を混ぜ、水を加えながら、蒸した大豆と混ぜ合わせ、樽詰めして発酵させます。水や塩加減を独自に調節する参加者もありました。

仕込んだ味噌は、今後、2回位天地返しを行い、秋頃には、旨味や甘みが熟成されたおいしい味噌が出来上がります。

今年も定員(40名)を上回る応募があり、大好評の講座となりました。



→講師の大戸さんと仕込み作業風景



2階「わくわく広場」の開放について

伊達中央交流館の一室を、学習にご利用いただけるよう自習室(机6台・2名掛けで12名定員)として開放しています。

なお、夏季・冬季の休み期間中ははじめ、部屋の利用状況により開放も可能ですので、事務室にてご確認・お問合せください。



期 間 2月1日(木)～3月31日(日)
※休館日(月曜日)は利用できません。

時 間 平日 17:00～19:00(月曜日は休館)
土日祝 9:00～19:00(日曜日は17:00まで)
※受付状況により利用制限(3時間)もあります。

対象者 中学生以上の生徒・学生

受 付 事務室に備え付けの「入館者受付簿」に、月日、時間、氏名、区分等を記入してご利用ください。

また、滞在時間等をご家族へ連絡し、帰宅の際は、退館時刻を必ず記入してください。

※基本的感染対策のご協力をお願いします。

こども食堂「おいしい食堂」

「こども食堂」は、子どもを中心としたみんなの居場所づくりを目的に、無料または低額で食事を提供しています。

「ゆいの会」(運営主体)を結成し、伊達地域で開催し、早や一年となりました。皆様のご支援、ご協力に感謝いたします。

これからも、どうぞお気軽に、おいしいご飯を食べにお出かけ下さい。

場 所 伊達中央交流館
料 金 大人 300円/中学生 100円
小学生以下 無料

時 間 11時30分～13時30分

これからの日程 (原則、毎月第二土曜日)

3月9日(土)、4月13日(土)

5月11日(土)、6月8日(土)

7月13日(土)、8月10日(土)

※状況により、予定変更の場合あり



申し込み不要!
メニューは当日のお楽しみ♪



能登半島地震災害義援金

令和6年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震において、被災された現地の人々への支援に取り組むため、伊達中央交流館内に募金箱を設置しています。

来館者の皆さまのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

設置期間は、3月24日(日)までですが、状況により延長の可能性もあります。

また、被災地への応援メッセージ(短冊)等を事務室前のミズキに下げる取り組みも行っています。

3・11体験を踏まえ、被災者に寄り添いながら、常日頃からの防災意識や備えに留意して参りましょう。



↑ミズキと募金箱↓



編集後記

今年度一年間の各種事業に、多世代の多くの方々に参加をいただきありがとうございました。

伊達西地区の皆さんが、講座等を通して仲間を増やし、コミュニケーションを図ることが、共助となり、大きな支え合いにつながっていくと思います。新年度からの企画にも積極的に参加をいただき、楽しく活気ある地域にして行きましょう。

(山田陽)